

行政の窓

話題1 平成19年度 北海道木材需給実績

この度、平成19年度北海道木材需給実績を取りまとめましたのでお知らせします。

【 需要について 】

19年度の需要量は、合板等用は大きく増加したものの、住宅着工件数の減少により製材用が減少したため、18年度実績（826万m³）をわずかに下回る822万m³となりました。

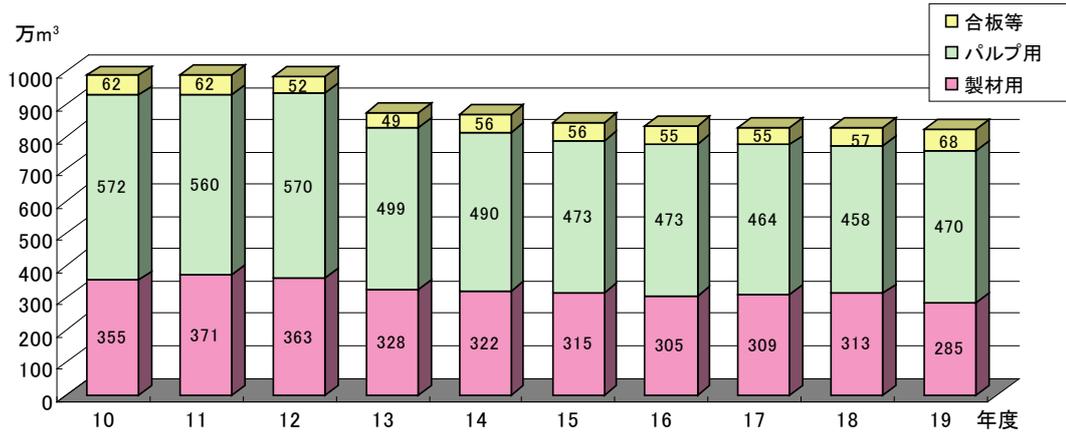


図1 需要量の動向

【 供給について 】

19年度の供給量は、北洋材の高騰などにより輸入丸太等が大きく減少し、また、道産材もここ数年続いた風倒木処理が年度半ばで終了し、エゾ・トド等の針葉樹が減少した一方、カラマツの増加により、18年度実績（827万m³）に対し0.6%減822万m³となりました。

なお、道産材供給率は18年度実績に比べ0.7ポイント上昇し52.7%となり、昨年度に引き続き50%を超えています。

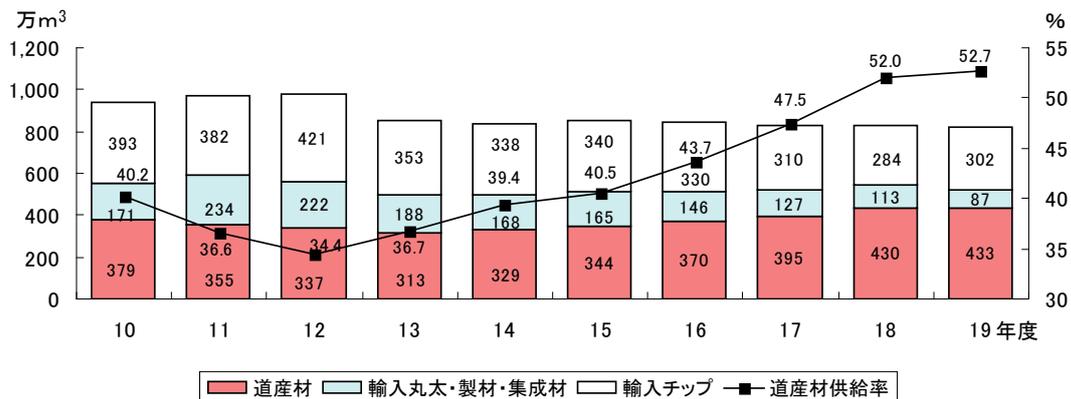


図2 供給量の動向

※数値は原木消費量または原木換算値

(水産林務部林務局 林業木材課木材産業グループ)